

0-9

ラクトフェリン含有食品の摂取による風邪，胃腸炎への影響 —アンケート調査

Questionnaire survey on the experience effects of lactoferrin supplement

○織田 浩嗣¹⁾，中野 学¹⁾，若林 裕之¹⁾，山内 恒治¹⁾，樋田 知宏¹⁾，
岩附 慧二¹⁾，松本 哲哉²⁾

1) 森永乳業株式会社 食品基盤研究所， 2) 東京医科大学 微生物学講座

We investigated experience effects of lactoferrin (LF) -containing supplement. Healthy women were divided into consumption group and non-consumption group. The former intaked LF -containing tablets for 90 days. Subjects filled out questionnaire about cold symptoms, gastroenteritis symptoms, and drug uses. Significant improvements were found in duration of respiratory infection and gastroenteritis, and intake of drugs in the consumption group compared with non-consumption group. These results suggest a possibility that LF intake relieves respiratory infection such as cold and gastroenteritis.

【目的】

ラクトフェリン (LF) は初乳等に多く存在し，抗微生物作用，免疫調節作用など持つ生体防御因子であると考えられており，これまでに各種ウィルスへの感染防御作用が報告されている。今回，LF 含有食品の摂取が風邪・胃腸炎に及ぼす影響を評価することを目的とし，アンケート調査を実施した。

【方法】

ボランティアの健常成人女性を対象に事前アンケートを実施し，過去の風邪罹患頻度等を基に 398 名を均等に 2 群に分けた。摂取群 (199 名) は LF 含有錠菓「ラクトフェリンプラス」(森永乳業) を 1 日 6 錠 (LF 600 mg, *Bifidobacterium longum* BB536 30 億個，ミルクオリゴ糖 600 mg)，2010 年 12 月 16 日～2011 年 3 月 15 日の 90 日間摂取した。非摂取群 (199 名) は錠菓を摂取しなかった。各群の被験者はこの期間中，風邪等 (呼吸器感染症) 症状，胃腸炎症状，薬の使用に関するアンケートを毎日記入した。摂取開始日から 30 日毎に 1～3 ヶ月目に分けて集計し，自己申告で花粉症と判断された症状は除外して解析した。

【結果】

風邪等症状 (喉の痛み，咳，痰，鼻水・鼻詰まり) の発現日数は，3 ヶ月目において摂取群で非摂取群に対して有意に低かった。また，胃腸炎症状 (腹痛，下痢，食欲不振) の発現日数，風邪薬及び胃腸薬の使用日数は，1 ヶ月目から 3 ヶ月目にかけて摂取群で非摂取群に対して有意に減少した。

【結論】

LF 含有食品の摂取が風邪等症状，及び胃腸炎症状を軽減する上で有効である可能性が示唆された。